

12月21日（金）＜台湾への移動、国立科学工藝博物館の見学等＞

国立科学工藝博物館では、古代中国の進んだ天文学の思想から、最新の科学技術を学びました。世界で2番目の規模の応用科学博物館と言われており、多種多様な展示物が備えられていました。生徒たちは限られた時間のため、各自の興味・関心にしぼって、研修を進めました。



12月22日（土）＜文山高級中學での研修①＞

午前は、課題研究の発表をワールドカフェ方式で行いました。各班がローテーションで相手を替えながら、互いの研究を英語で発表しあい、協議しました。午後は、海洋奇珍園および隣接する湖でのフィールドワークを行いました。海洋奇珍園には世界的にも希少な海洋生物が多く、両校の生徒が協働して園内の生物を観察することで、海洋生物に関する見識を深めることができました。また、文山高級中學の生徒と協働して、隣接する池の生物で密閉した生態系を作り出す「エコボトル」の製作にも取り組みました。



12月23日（日）＜文山高級中學での研修②＞

午前は、日台混成で4～6人程度のグループをつくり、「科学の甲子園の県予選」で出題された物理実験の問題に挑戦しました。事前学習を行ったうえでの製作であったため、互いの英知を結集した力作が揃いました。午後は、2日間の振り返りを行いました。活動を振り返りながら、コミュニケーションがスムーズにとれてきたことを実感する時間となりました。最後に互いが準備したプレゼントの交換を行い、2日間の研修を締めくくりました。



12月24日（月）＜台湾からの移動＞

フライトスケジュールの都合上、現地時間4：30起床、5：00ホテル出発というハードなスケジュールでしたが、大きなトラブルもなく、無事に帰国することができました。

今回の研修は文山高級中學との協働学習が中心でした。基本的なコミュニケーションは英語で行い、生徒は英語でのコミュニケーションに四苦八苦しながらも積極的に挑戦しました。課題研究やフィールドワーク等を通して、科学的な知見を得るだけでなく、英語で海外の仲間と意思が通じる実感を得るなど、充実した時間を過ごすことができました。